

平成 28 年度

「運営に関する計画」

大阪市立淀川中学校

平成 28 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

平成27年度「全国学力・学習状況調査」において、平均正答率は大阪府平均と比べ、国語で約3%下回り、数学ではAが8%、Bが9%大阪府を下回っている。また理科でも7%下回っている。また無回答率も各教科とも大阪府を下回っている。国語では「書くこと」の領域が特に弱く、自分の考えや意見をまとめ効果的に伝える力をつける必要がある。数学では「図形」「関数」の領域が弱く、基礎・基本的な学習と演習問題等に取り組み、確実な力をつける必要がある。理科では「物理的」「化学的」領域が弱く、実験等を取り入れたり、授業において様々な工夫を凝らし、科学的な思考力をつけさせることが必要である。

また、質問紙調査において、「自分には良いところがある」「将来の夢や目標を持っている」の肯定的回答が大阪市平均より8.5、7.7%低い。自尊心の持てない生徒や将来に対する前向きな意欲を育てる道徳教育や体験を取り入れた学習に取り組む必要がある。

中期目標

【視点 学力の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」の平均正答率を国語、数学とも大阪市平均と同等の結果とする。
(カリキュラム改革関連)
- 「全国学力・学習状況調査」における「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を全学年で前年度より向上させる。
(カリキュラム改革関連)
- 「分かる授業、興味を持って取り組める授業」にするため、ICTを積極的に活用する。特に理科の実験・観察の授業で最新のICTを駆使する。そして本校アンケート調査で、「日々の授業に積極的に取り組んでいますか」の項目について、「積極的である（ほぼ積極的である）」と回答する生徒の評価を70%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上維持し続ける。
(カリキュラム改革関連)
- キャリア教育の充実により、勤労の尊さを実感させるとともに、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。校内アンケートにおいて「勤労の尊さを実感した（どちらかといえば実感した）」という生徒の評価を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 本校アンケート調査で、「5分前の予鈴登校や、あいさつ運動に取り組んでいることは、これからあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 生徒のようすを土曜授業や学校HP、学校行事・地域行事等によって家庭・地域に発信し、外からの意見を教育の改善に活かす。「校長室だより」も毎月学校HPに掲載する。
(ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の維持増進】

- 「全国学力・学習状況調査」における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答える生徒の割合を10%以下にする。
(カリキュラム改革関連)
- 本校アンケート調査で、「生命尊重や男女平等の意識について性教育を学んでいます。こうした学習はこれからあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を85%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 「全国体力・運動能力・運動習慣調査」における合計得点を全学年で向上させる。
(カリキュラム改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」の平均正答率を国語、数学とも大阪市平均と同等の結果とする。
(カリキュラム改革関連)
- 「全国学力・学習状況調査」における「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を全学年で前年度より向上させる。
(カリキュラム改革関連)
- 「分かる授業、興味を持って取り組める授業」にするため、ICTを積極的に活用する。特に理科の実験・観察の授業で最新のICTを駆使する。そして本校アンケート調査で、「日々の授業に積極的に取り組んでいますか」の項目について、「積極的である（ほぼ積極的である）」と回答する生徒の評価を70%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- キャリア教育の充実により、勤労の尊さを実感させるとともに、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。校内アンケートにおいて「勤労の尊さを実感した（どちらかといえば実感した）」という生徒の評価を85%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 本校アンケート調査で、「5分前の予鈴登校や、あいさつ運動に取り組んでいることは、これらのあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 生徒のようすを土曜授業や学校HP、学校行事・地域行事等によって家庭・地域に発信し、外からの意見を教育の改善に活かす。「校長室だより」も毎月学校HPに掲載する。
(ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の維持増進】

- 「全国学力・学習状況調査」における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答える生徒の割合を10%以下にする。
(カリキュラム改革関連)
- 本校アンケート調査で、「生命尊重や男女平等の意識について性教育を学んでいます。こうした学習はこれからあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しあは役立つ）」と回答する生徒の評価を85%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 「全国体力・運動能力・運動習慣調査」における合計得点を全学年で向上させる。
(カリキュラム改革関連)

大阪市立淀川中学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>○「全国学力・学習状況調査」の平均正答率を国語、数学とも大阪市平均と同等の結果とする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○「全国学力・学習状況調査」における「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を全学年で前年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○「分かる授業、興味を持って取り組める授業」にするため、ＩＣＴを積極的に活用する。特に理科の実験・観察の授業で最新のＩＣＴを駆使する。そして本校アンケート調査で、「日々の授業に積極的に取り組んでいますか」の項目について、「積極的である（ほぼ積極的である）」と回答する生徒の評価を70%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【各教科(特に国語・数学・理科・英語)の指導法の改善】</p> <p>基礎基本の徹底、理科を中心とした興味・関心を高めるためのＩＣＴを活用した授業の推進。習熟度別授業の充実、小学校の英語指導の改革を受けての英語授業の改善。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標　ＩＣＴについては理科において書画カメラや実験観察用計測・処理システムを駆使した授業を推進する。英語については小中連携を通じて小学校の状況を把握し、音声指導を中心に授業を工夫する。</p>	
<p>取組内容②【自主学習習慣の確立】</p> <p>主体的な学習習慣が身につくような小テスト・レポート・宿題を実施する。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標　小テストの実施やレポートのきめ細かな点検と指導。学年だより等による家庭教育の啓発</p>	
<p>取組内容③【授業研究を伴う校内研修の充実】</p> <p>ＯＪＴ授業を効果的に活用した研究授業を充実させ、またこれに加え、土曜授業における参観授業の指導案作成の推進。 (学校サポート改革関連、ガバナンス改革関連)</p>	
<p>指標　年間12回以上の研究授業の実施、すべての学期で複数の研究授業を行う。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立淀川中学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかつた	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の向上】</p> <p>○「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○キャリア教育の充実により、勤労の尊さを実感させるとともに、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○本校アンケート調査で、「5分前の予鈴登校や、あいさつ運動に取り組んでいることは、これからあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○生徒のようすを土曜授業や学校HP、学校行事・地域行事等によって家庭・地域に発信し、外からの意見を教育の改善に活かす。「校長室だより」も毎月学校HPに掲載する。 (ガバナンス改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【道徳教育のさらなる推進】</p> <p>体験的な学習も含め道徳教育を推進するとともに、すべての教育活動を通して規範意識を高める。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 全国学習状況調査の質問紙の「学校のきまりを守っていますか」の回答において、守っている（ほぼ守っている）の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【安全教育の推進】</p> <p>予鈴前登校や挨拶運動の推進。毎日、多数の教員による登校指導の実施と安全点検。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 全国学習状況調査やアンケートでの評価を前年度以上にする。</p>	
<p>取組内容③【キャリア教育の推進】</p> <p>職業講話等を実施し、勤労の尊さを実感させ、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 全国学習状況調査の関連項目での割合を前年度以上にする。</p>	
<p>取組内容④【その他、開かれた学校をめざして生徒のようすの地域へ発信する】</p> <p>開かれた学校をめざした土曜授業・学校HP・学校行事、そして地域行事への関わりを深める。吹奏楽部の活動を地域行事等で充実させる。 (ガバナンス改革関連)</p> <p>指標 「校長室だより」を毎月学校HPに掲載し、常に地域からの声を聞く。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立淀川中学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 健康・体力の維持増進】	
○「全国学力・学習状況調査」における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答える生徒の割合を10%以下にする。 (カリキュラム改革関連)	
○本校アンケート調査で、「生命尊重や男女平等の意識について性教育を学んでいます。こうした学習はこれからあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を85%以上にする。 (カリキュラム改革関連)	
○「全国体力・運動能力・運動習慣調査」における合計得点を全学年で向上させる。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【食育・健康な生活習慣の確立】 保健だよりや食育通信等により啓発活動を推進し、健康な生活習慣を確立する。 (ガバナンス改革関連)	
指標 全国学習状況調査の割合を改善する。	
取組内容②【健康に関する今日的課題への対応】 生命尊重、男女平等を基本とした性教育の取り組みや講演会等の実施。 (カリキュラム改革関連)	
指標 全国学習状況調査の関連項目での割合を前年度以上にする。	
取組内容③【体育活動の充実】 土曜授業においてトップアスリートを招いての講話や体験活動等を行い、運動に親しみ運動に対する意識を高める。体育授業のさらなる充実。 (ガバナンス改革関連、カリキュラム改革関連)	
指標 生徒アンケート等の結果。「全国体力・運動能力・運動習慣調査」で前年度以上の結果をめざす。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点